

高等部園芸グループ作業学習指導案

1. 単元 『おいしい冬野菜を作って売ろう』

2. 指導についての考え方

○生徒の実態

園芸グループは1年生〇名，2年生〇名，3年生〇名の計〇〇名で構成されている。生徒の実態は，作業の流れを理解して活動できる生徒，少しの声かけ動作補助で作業ができる生徒，動作補助などの支援を要する生徒など様々である。生徒は4月より9月にかけて夏野菜（キュウリ，茄子，トマト，オクラ，ピーマン，ニガウリ，トウモロコシ）を栽培し，販売するという一連の流れを経験している。これら栽培，収穫，販売を通して，意欲的に園芸作業に取り組む姿勢を身につけてきている。

○単元設定の理由

園芸作業では土・水・作物などに触れることにより，自然の力を体感することができる。季節に合わせて，種をまき，苗を植え様々な作物を収穫でき，スーパーや店頭で見る商品化された野菜ではなく，作物本来の生長した姿を知ることになる。

「おいしい冬野菜を作って売ろう」は，冬野菜では大根，ニンジン，小松菜，ブロッコリー，ターサイ，ラディッシュ，かつお菜，ほうれん草，春菊，チンゲン菜などを栽培する。前回までの作業で培ってきた耕し・畝立て・苗植え・脇芽摘みなどは自主的に実践しつつ，今回取り組んでいく，「間引き」という新しい技術を習得するために必要な単元となっている。

○支援にあたっての考え方

学習内容の工夫

- ・全員がすべての作業内容，一連の流れを経験することで，作物の生長の喜びを味わうことが出来る。

学習集団の工夫

- ・自分の能力を発揮できるように，目標に考慮して〇つのグループに分ける。

学習環境の工夫

- ・必要な道具の置き場を固定することで，生徒が一人で準備できるようにする。
- ・興味関心を高め，働く気持ちをもてるように畑をそれぞれのグループに分ける。

3. 単元目標

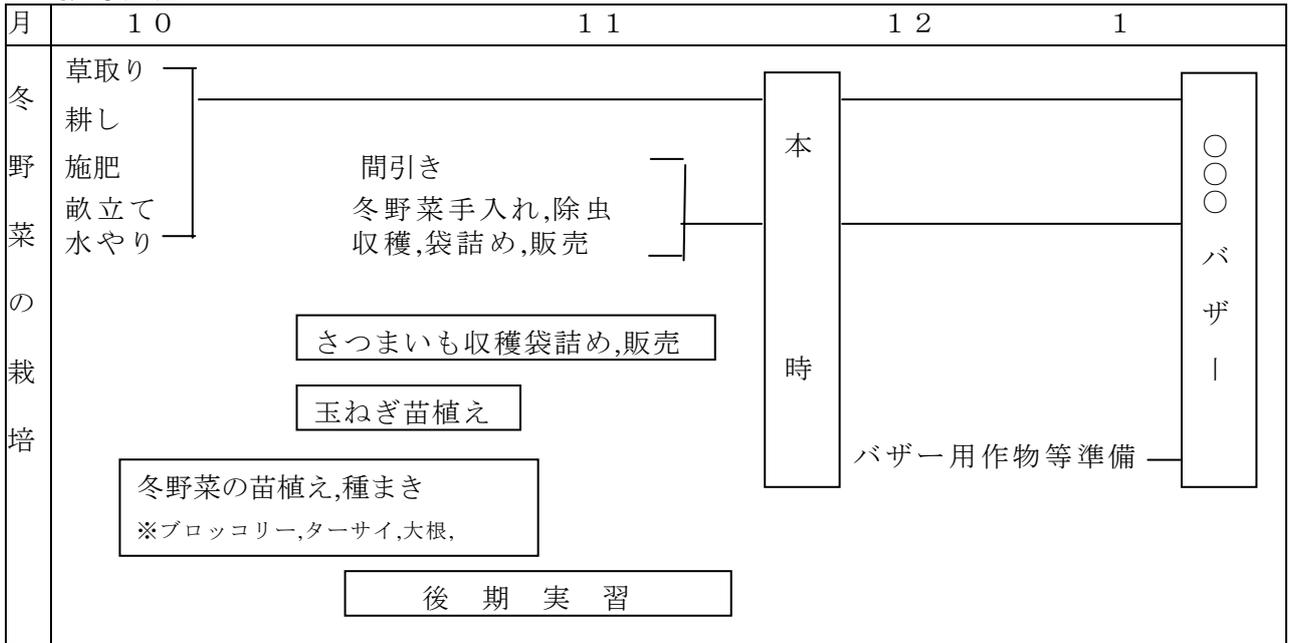
- ・生命あるものに愛情を持って接し，大切に育てようとする。
- ・野菜の栽培・販売を通して働くことの楽しさを味わい働く意欲を高める。
- ・耕し・畝立て・灌水・苗植え・収穫等の作業の意味や内容を理解し，見通しを持って集中して作業に取り組む。
- ・あいさつ・返事・報告ができる。
- ・作業グループの決まりを守り，周りの人と協力して作業する。
- ・農具を適切に使用し，安全に気をつけて作業する。

4. 生徒の実態と目標

	A男（○年）	B男（○年）	C男（○年）
個別の指導計画の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・持ち場を離れず，作業に集中して取り組むことができる。 ・作業時における声かけや指示に対して返事ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・作業内容を把握し，自ら進んで取り組むことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・どんな作業にも，見通しを持って，集中して長時間取り組むことができる。

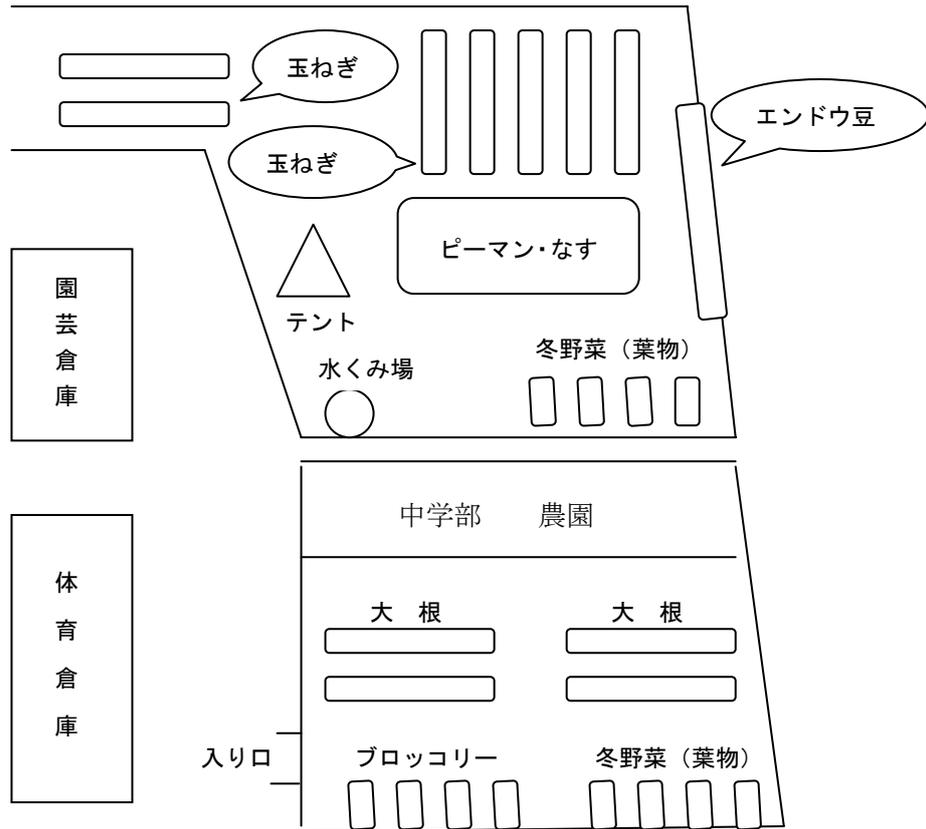
単元に関わる実態	<ul style="list-style-type: none"> ・作業の内容や流れを理解すると，少ない声かけで草取りや水やりに取り組むことができる。 ・自ら話しかけることはできないが，質問に対しては身振りで答えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉での指示が理解できていないことがある。 ・何をするのか，どうするのか分からないままやろうとすることがある。 ・作業準備から水やりなどは流れを理解して，自主的に行うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・園芸のいろいろな作業に興味・関心を持っている。 ・耕し等体全体を使う作業から，草取り等指先を使う細かい作業まで何でもこなす。 ・作業内容を指示を的確に把握し，作業を進めることができる。
単元の個別目標	<ul style="list-style-type: none"> ・一定の指示された場所で集中して作業ができる時間を伸ばす。 ・返事ができるようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・作業内容を理解して作業に取り組むことができる。 ・わからないことを尋ねることができるようになる。 ・自主的に動くことができる作業を増やす。 	<ul style="list-style-type: none"> ・見通しを持って，積極的に作業を進めることができる。 ・それぞれ作業の精度を高める。 ・作業に関する指示を的確に把握する。
支援の工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・指定された場所で草取りができるように，石灰やビニールテープを用いて作業場所を明確に示す。 ・返事ができるよう，教師が隣で一緒に返事をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・作業内容を理解できるように，言葉と同時に動作をつけて説明する。 ・困っている場面で尋ねることができるように，「わかりません。教えてください。」と先に言葉をかけて続けて言うようにする。 ・自信につながるような声かけをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・わからないことは質問してくるので，適切に答える。

5. 指導計画



6. 本時について

○場の設定



○準備

共通	長靴, 帽子, 軍手
1班	はさみ, 箱, ビニール袋, 大三本鍬, とう鍬, 平鍬
2班	じょうろ, 大三本鍬, 熊手, ロープ, 苦土石灰, カード類
3班	じょうろ, 草取り鎌, ザル, ロープ, 苦土石灰, カード類

○本時の展開

(1) 本時の目標

- ・自分の担当する作業内容がわかる。
- ・時間いっぱい集中して取り組むことができる。
- ・報告や返事をきちんとする。

(2) 展開

A	め ざ す 姿	評 価 の 観 点
	<ul style="list-style-type: none"> ・指定された場所を離れず，耕しができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・持ち場を離れず耕しができています。
	<p>学 習 内 容 と 活 動</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. はじめのあいさつをする。 2. 作業内容の確認をする。 3. 水やりをする。 4. 草取りをする。 5. 耕しをする。 6. 道具の片付けをする。 7. 本時のまとめをする。 8. 終わりのあいさつをする。 	<p>支 援 の 工 夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日直に注目するように声かけをする。 ・説明している教師に注目するよう声かけをする。 ・自分で準備をして，水やりの作業に取りかかっているか，根元に水をかけているか見守る。 ・草取りの様子を見守る。 ・持ち場を離れたときは，所定の場所へ戻るよう声かけをする。 ・耕す場所・終了がわかるように石灰をまく。 ・土と石灰が混ざり，石灰の色が見えなくなったら，耕しの終了であることを伝える。 ・場所を離れないように，声かけや隣で一緒に耕しをする。 ・よくできた点を褒め，次回につなげるようにする。 ・日直に注目するように声をかける。

(2) 展開

	め ざ す 姿	評 価 の 観 点
B	<ul style="list-style-type: none">・決められた範囲の草を取ることができる。・草取りの終わりがわかり、終了報告ができる。	<ul style="list-style-type: none">・枠内の草取りに集中している。・枠内の草がない状態である。・「終わりました」の報告ができる。
	学 習 内 容 と 活 動	支 援 の 工 夫
	<ol style="list-style-type: none">1. はじめのあいさつをする。2. 作業内容の確認をする。3. 水やりをする。4. 草取りをする。5. 道具の片付けをする。6. 本時のまとめをする。7. 終わりのあいさつをする。	<ul style="list-style-type: none">・日直に注目するように声かけをする。・自分の作業がわかっているか、質問をして確認する。・自分で準備をして、水やりの作業に取りかかっているか見守る。・草取りの場所がはっきりわかるように、印を付ける。・草取りの終わりが理解できるように終わりの状態を写真で確認する。・終了報告ができるように範囲を狭くしておく。・草取りの様子を見守る。・積極的にその日の作業についての感想が言えるように、声かけをする。・日直に注目するように声をかける。

(2) 展開

	めざす姿	評価の観点
C	<ul style="list-style-type: none"> ・間引きで、余分な芽を適切に抜き取る。 ・耕し・畝たてを意欲的に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・間引きの示範を見て、その通りに作業できている。 ・満足した表情で取り組み、いきいきと活動している。
	学習内容と活動	支援の工夫
	<ol style="list-style-type: none"> 1. はじめのあいさつをする。 2. 作業内容を確認する。 3. 大根と葉物野菜の間引きをする。 4. 耕しをする。 5. 畝たてをする。 6. 道具の片付けをする。 7. 本時のまとめをする。 8. 終わりのあいさつをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・作業内容をボードで提示する。 ・示範をする。 ・意欲が喚起されるように、耕し・畝たての場所を指定する。 ※質問がある場合あるいは指示することがある場合を除いて、静かに見守る。 ・今日の作業を振り返り、頑張った点や改善点を見つけ、今後の取り組みに生かせるよう適切にアドバイスをする。